

# 福祉サービス第三者評価結果

事業所名 はぐくみの丘保育園

ソキウスコンサルティング株式会社

## 第三者評価結果

### 事業所基本事項

フリガナ	シャカイフクシホウジン シンコウカイ ハグクミノオカ
事業所名 (正式名称を記載)	社会福祉法人 新考会 はぐくみの丘保育園
事業所住所	神奈川県厚木市長谷1128-1
最寄駅	小田急線 本厚木駅
事業所電話番号	046-290-2033
事業所FAX番号	046-290-2034
事業所代表者名	施設長 工藤 玲子
法人名及び 法人代表者名	法人名 社会福祉法人 新考会 法人代表者名 理事長 湯浅 陸夫
URL	<a href="http://www.shinkou-kai.jp/">http://www.shinkou-kai.jp/</a>
問合せ対応時間	7:00 ~ 20:00

### 事業所の概要1

開設年月日	平成23年
定員数	75 名
都市計画上の用途地域	
建物構造	鉄筋コンクリート造
面積	敷地面積 ( 1201.6 ) m <sup>2</sup> 延床面積 ( 595.12 ) m <sup>2</sup>

### 事業所の概要2 (職員の概要)

総職員数	20 名
うち、次の職種に 該当する職員数	施設長 ( 1名) 保育士 (16名) 保健師・看護師 ( 名) 栄養士 ( 1名) その他 (調理員2名 事務員等 名 用務員 名)

### 事業所の概要3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	0歳 ~ 5歳	
延長保育の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	備考:
休日保育の実施	<input type="radio"/> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	備考:
一時保育の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	備考:
障害児保育の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	備考:

### 保育方針

地域の保育に欠ける乳幼児を受託保育し、乳幼児の一人一人の人格の健全育成を日々の保育を通じて培い、人の気持ちの分かる優しい心、頑張れる強い意思、創造性豊かな心情を育てることを保育目標として最低基準を遵守し、地域からも信頼される保育園づくりをする。

## 第三者評価結果

### 1. 総合コメント

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

#### <優れている点>

- 1 保護者との信頼関係を築き家庭とのコミュニケーションを大切にした取り組みをしています。

保護者との連絡帳を使い子育ての不安や悩みなど言葉にできない心の内を打ち明けやすいように工夫しています。

年3回のクラスだより、毎月の園だよりを配布して常に保護者への情報提供に努めています。

日頃から声をかけやすい雰囲気づくりをし、保護者の気持ちが落ち着かない時には園から声をかけ、落ち着いてもらえるようにしています。

早め早めの情報提供と発達について入園時の丁寧な対応で保護者からの相談や個別面談の申込みが増えています。長年の経験と積み上げで、声をかけやすい雰囲気を大切にしています。保護者の申し出により特に配慮の必要な子どもについては早めに専門機関と連携し、早期療育支援を取り入れ、保護者の不安を取り除けるよう、丁寧な取り組みをしています。

- 2 子どもの豊かな心を育む保育に取り組んでいます。

保育目標に「人の気持ちの分かる優しい心、頑張れる強い意思、創造性豊かな心を育てる」ことを掲げています。

外国籍の子どもには特別扱いすることなく子ども同士のかかわりを大切にしています。障害のある子どもには視覚的な教材を使用したり、仲の良い子どもや異年齢の子どもと一緒に行動することで安心して過ごせるようにしています。

音楽会や陶芸教室など行事の中にも創造性豊かな心を育てる保育に取り組んでいます。

#### <独自に工夫している点>

- 1 食育に関して様々な取り組みをしています。

園内でトマト、ゴーヤなどの野菜やバケツ稲でお米を作り、収穫を体験することによって、自分で作って自分で食べる喜びを育てています。

給食は、塩分少なめで素材の持ち味を生かし、よく噛んで食べることに配慮した献立になっています。栄養価も考慮した上で玄米や五穀米の日をつくり、よく噛んで甘みを感じてもらえるようにしています。味付けには砂糖もなるべく使わないようにしています。食の安全・安心のため食材の産地を献立と一緒に掲示しています。

2 地域との交流・連携について積極的に取り組んでいます。

地域との交流・連携について積極的に取り組んでいます。月2回の園庭開放には地域の子育て家庭の子どもと保護者が多く参加しています。園庭開放の参加から一時利用の登録、一時利用から園を選定する家庭が増えてきています。

一時利用を利用する家庭は1歳児が一番多く、地域の子育て支援ニーズに素早く対応できています。

職員は保護者・子どもに対しても明るく、安心して預けられる園を目指しています。

<改善すべき事項>

1 苦情解決の取り組みについては、今後より一層の取り組みを期待されます。

苦情解決の取り組みについて、マニュアルを整備し実施していますが、法人の理事会への報告が遅れています。些細なことでも苦情に関しては法人全体で周知し改善することが必要ですので、園内だけで完結することなく理事会に報告し日々の保育に反映されることを期待します。

評価領域ごとの特記事項

1	人権への配慮	<p>① 保育方針に地域の保育に欠ける乳幼児を受託保育し、乳幼児の一人一人の人格の健全育成を日々の保育を通じて培い、人の気持ちの分かる優しい心、頑張れる強い意思、創造性豊かな心情を育てることを保育目標としています。</p> <p>マニュアルを整備し職員全体で読み合わせを丁寧に行い、新人職員には、保護者への挨拶の仕方、言葉遣いから研修をしています。</p> <p>② 国籍などによる差別がないようにマニュアルを整備しています。職員会議で日頃から話し合い、差別禁止に対する意識を高めています。新人研修、全体研修を計画的に行い、細かな部分については、随時職員会議で議題にあげるようにしています。</p> <p>③ 午睡時に園児の身体のチェック、登園時に表情のチェックを行い早期発見に努めています。出席簿に虐待の恐れがあるチェックリストを設けることによって、職員全体にいきわたるようにし、虐待の恐れのある保護者に対しては、すぐに声をかけるようにし、虐待防止に努めています。</p> <p>④ 個人情報保護規程を整備し、入園時に保護者に説明しています。写真撮影やSNSを含むインターネット上の公開など無断で第三者に提供しないように入園時に説明をしています。</p>
---	--------	--

2	利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援	<p>① 家庭とのやりとりはマニュアルを整備し、すべてのやりとりを記録し、職員全体で把握しています。毎日の連絡帳、行事への参加、クラス懇談会を年1回、保育参観を年2回、個別面談を通じて家庭との連携を大切にしています。</p> <p>② 保護者からの意向は入園時に聞き取り保育内容に反映するようにしています。クラス担任が保護者からの意見を聞き取り、職員会議で全職員に周知徹底しています。日頃から、保護者が声をかけやすいように、明るく素直な職員でいるように努めています。</p> <p>③ 乳児クラスでは、月齢や発達に応じてグループ分けをし、児童票などの個人記録を細かく記載しています。行事などは子どもとの話し合いをし、一緒に創り上げることによって子どもの情緒の安定をはかっています。</p> <p>④ 園内では全クラスはだし保育を取り入れ健康な体づくりを目指しています。土踏まずの形成や、足の裏からの刺激による身体全体の健康を促進しています。</p> <p>⑤ 年長児は英語レッスン、楽器の演奏、体操を行っています。英語レッスンでは、英語の歌やゲーム、絵カードを楽しみながら、楽器演奏ではピアノを使用しながら、体操では、マット運動や平均台等を利用して行っています。</p> <p>⑥ 高齢者施設へ訪問し交流する機会を設けています。路線バスを利用して外出をすることにより公共マナー・ルールを学んでいます。</p> <p>⑦ 毎月の栄養士による話やクッキング等を取り入れた食育に力を入れています。日中活動で、十分に体を動かしお腹が空いたことを感じられるように思い切り遊んでいます。畑で自分たちが育て収穫したものを給食で食べることにより、命の尊さも学んでいます。</p> <p>⑧ 特別に配慮の必要な子どもについては、保護者の意向も取り入れながら教材を工夫しています。他の専門機関とも連携し保護者の申し出により早期療育支援に繋がるようにしています。</p>
3	サービスマネジメントシステムの確立	<p>① 苦情に関しては、マニュアルを整備し入園時に受付の方法や、その後の報告について説明をしています。日々の保護者のやりとりから小さなことでも全職員で周知し保育内容を見直すように努めています。第三者委員の設置はしていますが、定期的な話し合いが行われていませんでしたので、今後は定期的な話し合いができるように努めてください。</p> <p>② マニュアルを整備し、園内の温度・湿度、清掃、遊具の安全点検など点検表を使いチェックを定期的に行っています。はだし保育を実施しているため、室内の温度は高めに設定しています。</p> <p>③ 健康管理については、マニュアルを整備し実施しています。投薬が必要な場合はかかりつけ医からの投薬依頼票を保護者から園に提出してもらって行っています。急な体調不良時やケガの場合には速やかに家庭へ連絡をし連携している医療機関へ通院します。</p>

		<p>④ 災害時については、マニュアルを整備し実施しています。避難訓練は地震、火災を想定し毎月実施しています。不審者侵入訓練は2か月に一度行い、日頃から防犯に対する話し合いを職員会議で話し合っています。災害時の地域支援に関しては乳児は要請があった場合に引き受けるようになっています。避難所で受け入れが困難な子どもがいた場合、地域の施設機能として積極的に受け入れたいと考えています。</p>
4	地域との交流・連携	<p>① 保育課程に地域の子育て支援として園庭開放、育児相談を明記しています。地域との情報交換や交流、育児相談を積極的に行うように努めています。</p> <p>② 地域の子育て支援として園庭開放を月2回行っています。地域の子育て家庭が参加できる行事を数多く実施し交流を深めています。（陶芸教室・音楽会・ベビーサイン・給食試食会・ベビーヨガ）</p> <p>③ 高齢者施設に訪問し、交流を深めています。園外に積極的に出かけ挨拶を交わし日頃から地域の方々との交流があります。近隣の大学へお芋掘りに出かけたりもしています。路線バスなども使った外出をして公共のルール・マナーを学ぶ機会にもしています。</p>
5	運営上の透明性の確保と継続性	<p>① 毎朝の打ち合わせ、連絡帳からのやりとりまで職員会議、毎月の全体会議、施設長会議など丁寧な運営をしています。</p> <p>② 毎年、全職員で自己評価を行い、とりまとめをしています。自己評価の結果を園全体として改善に繋がるような仕組みが整っています。</p> <p>③ 園の入り口にパンフレットを置いています。園だよりの発行、ホームページなど積極的に情報提供に取り組んでいます。園舎の外掲示板、自治会の回覧板等で園の行事は随時情報を提供しています。</p> <p>④ 保育参加については、保護者に対して入園時に説明し、行事などへの保育参観が必ずできるように説明し、日程を年間計画で渡して案内しています。祖父母の方々への参加もできるように案内しています。保護者が気になるときにはいつでも行っています。</p>

6	職員の資質向上促進	<p>① 保育理念・方針は外部の研修機関も利用して全職員で徹底して行っています。</p> <p>② 年間研修は研修計画を立てて行っています。他園との園長巡回2年目以降の職員の職員留学を行い、同じ法人の保育士同志で改善すべきことを伝えあい、より良いサービス提供に向けて取り組んでいます。園内でもクラス担任交換を実施して意見を交換して日々の保育に活かされています。外部で行う研修会にも積極的に参加して、職員会議等で全職員にフィードバックできるようにしています。</p> <p>③ 実習生の受け入れ担当は主任が行っています。オリエンテーション時に子どもの接し方や個人情報、守秘義務について伝えています。希望のクラスをオリエンテーション時に聞いています。子どもから教えられる、助けられる実感がある素晴らしい仕事であることも伝えています。</p>
---	-----------	--

## 2.評価項目に基づく評価の結果

### 大項目1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に沿って、調査を行った結果です

大項目1全体を通してのサービスの達成状況 (調査確認事項全80事項)	100%
---------------------------------------	------

#### 大項目1の内容(概要)

1	人権の尊重 (8事項)	① 子どもや保護者に対する態度や言葉遣い(3事項)	3/3	8/8
		② 出生や国籍、性差などによる差別の禁止(3事項)	3/3	
		③ 虐待予防や早期発見のための関係機構との連携(2事項)	2/2	
2	プライバシー確保 (7事項)	① プライバシー確保への配慮(3事項)	3/3	7/7
		② 実習生などへのプライバシー確保(3事項)	3/3	
		③ 個人情報保護の体制整備(1事項)	1/1	
3	家庭と保育園との 信頼関係の確立 (6事項)	① 家庭との連絡、情報交換の体制(2事項)	2/2	6/6
		② 家庭の意向・希望の把握(2事項)	2/2	
		③ 意向・希望の記録・管理(2事項)	2/2	
4	苦情解決システム (8事項)	① 苦情解決の担当者・責任者の公示(2事項)	2/2	8/8
		② 苦情解決の記録(2事項)	2/2	
		③ 第三者委員会の設置、実施(3事項)	3/3	
		④ 理事会への報告(1事項)	1/1	
5	環境整備 (8事項)	① 温度や湿度等の管理(2事項)	2/2	8/8
		② 洗剤等の危険物の管理(2事項)	2/2	
		③ おもちゃ、遊具等の管理(2事項)	3/3	
		④ 遊具などの安全保持(2事項)	1/1	
6	健康管理(感染症対策 ・救急救命を含む) (14事項)	① 体調不良児、けがへの対応(2事項)	2/2	14/14
		② 体調不良児への対応(2事項)	2/2	
		③ けがなどへの対応(2事項)	2/2	
		④ 感染症予防への情報提供(3事項)	3/3	
		⑤ 感染症発症時の対応(2事項)	2/2	
		⑥ 救急事態発生時の医療機関・家庭等との連携(3事項)	3/3	
7	危機管理(防災・防犯) (8事項)	① 火災や震災等の対応(3事項)	3/3	8/8
		② 日常の防災・防犯体制の整備(2事項)	2/2	
		③ 災害発生時の地域支援体制(3事項)	3/3	
8	地域子育ての支援 (6事項)	① 地域内の子育てニーズの把握と支援(6事項)	6/6	6/6
9	自己評価と情報開示 (6事項)	① 自己点検・改善活動の実施(2事項)	2/2	6/6
		② 地域への情報提供、情報公開(2事項)	2/2	
		③ 見学や保育参観の機会の設定(2事項)	2/2	
10	職員研修 (9事項)	① 理念などの職員への研修実施(3事項)	3/3	9/9
		② 年間を通しての研修計画(2事項)	2/2	
		③ 外部研修の共有化(2事項)	2/2	
		④ 実習生の受入れ、指導(2事項)	2/2	

80/80



## 大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>(1) 子どもと保育士とのかかわりにおいて、子どもの情緒の安定をはかることや、順調な発育・発達を促すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 0.1歳児を合同保育にすることで、個々の発達に合わせたより細やかなグループ保育ができています。</p> <p>② 裸足保育を取り入れることで、土踏まずの形成促進や、足の裏の刺激による体全体の成長を促している。</p> <p>③ 児童表などの個人記録をつけている。</p>	<p>① 0.1歳児を合同にして、その中で月齢や発達の違いで小さなグループを作り、そのグループ毎に月案も作成して発達を促しています。</p> <p>② 土踏まずの形成と、足の裏に刺激を与えるはだし保育を取り入れています。けがや体調により保護者から靴下を履かせてほしいとの申し出があった場合は、靴下を履いています。</p> <p>③ 乳児はならし保育の頃は毎日、その後は週2-3回程度、幼児は週に1回程度児童票を記録しています。</p>
<p>(2) 子ども同士のかかわりにおいて、個の違いを認めあうことや他者と自分を大切にすることを育てるようになるためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 制作物などを発表しあうことで、様々な作品があることを知り、それぞれに違って良いことをその都度伝えていく。</p> <p>② 縦割り保育を通してお手伝いをしたり、されたりする中で、年上児へのあこがれや年下児への思いやりの気持ちを育む。</p> <p>③ 食物栽培や昆虫の飼育等を通して、命の大切さを学ぶ。</p>	<p>① 制作物ができると前に出て皆に見てもらい、その作品についてみんなに発表しています。自分の作品をみんなに知ってもらい、他の子どもの作品についても関心を持つようにしています。</p> <p>② ハロウィンやお店屋さんごっこなどの行事の時、縦割りのグループを作って行動します。年長児は年少児をいたわり、年少児は年長児の思いやりの気持ちを頼もしく思い、憧れるようになります。</p> <p>③ 日常の保育の中で遊びを決める時や、行事の内容をみんな決めていく時などは、みんなの話を聞いて、一人一人の意見を尊重するようにします。</p>

## 大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>(3) 子どもと社会とのかかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることの楽しさを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 高齢者施設への訪問</p> <p>② 園外への積極的な散歩による、地域の人との交流（挨拶など）</p> <p>③ 路線バスを利用して出かけることで、公共のルール・マナーを知る。</p>	<p>① 近くのケアセンター（デイサービス）に行き、お年寄りと会話をすることで喜ばれたり、子どもたちも楽しい時間を持つことができます。</p> <p>② 近くの公園などに散歩に出かけた時、近所の人と挨拶をしたり、会話を楽しんでいます。</p> <p>③ 3歳児はプラネタリウム、5歳児は江の島の水族館に、公共のバスを使って行きます。バスに乗る時や人通りが多い所での歩き方やルールを学びます。</p>
<p>(4) 生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 年間を通して定期的に縦割りの保育の活動を取り入れることで、異年齢で言葉のやり取りを楽しめるようにしている。</p> <p>② お店屋さんごっこを通して、言葉のやり取りを楽しんでいる。</p> <p>③ 英語レッスンによって、日本語だけでなく英語のやり取りも楽しめるようにしている。</p>	<p>① 3歳児～5歳児で縦割りのグループを作り、定期的に異年齢での交流を楽しめるようにしています。</p> <p>② お店屋さんごっこを通して、お店屋さんの役になったり、お客さんの役になったりして会話を楽しんでいます。園庭などの遊びの中で、小さな子が困っていたら声をかけお手伝いをするなど、自然に年少児に対する優しいやり取りができるようになっていきます。</p> <p>③ 日常会話の中に英語も取り入れて会話を楽しんでいます。</p>
<p>(5) 生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするため</p>	<p>① 各クラスごとに行っている当番活動や体験発表により、人前で話をする、人に思いを伝えることを楽しんでいる。</p> <p>② 絵本の読み聞かせにより想像力を膨らませ、物語を聞くことを楽しんでいる。</p>	<p>① 朝の会や給食の時などは、当番が前にて挨拶をします。またお休みの次の日などは皆にお休みの出来事を話して聴いてもらいます。友だちの話を聞いて質問したりしています。</p> <p>② 保育士は空いた時間などに子どもたちに絵本を読み聞かせます。子どもたちは自由に感想や意見を話しています。</p>

## 大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>にどのような取り組みをしていますか</p>	<p>③ 誕生日会でのインタビューで、質問をすること・されることを楽しんでいる。</p>	<p>③ 誕生日会では誕生日の子がみんなにお祝いの歌を歌ってもらったり、インタビューのように友だちからのいろいろな質問に答えたりします。</p>
<p>(6) 生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 4・5歳児が年間を通して保育の中でピアノを使用し、楽器を演奏することを楽しんでいる。</p> <p>② 体操や遊戯をすることで、他児と協力して表現することを楽しんでいる。</p> <p>③ お店屋さんごっこやままごと遊びなどを通して、なりきって遊ぶことを楽しんでいる。</p>	<p>① 4歳児からピアノを使って演奏しています。時にはカスタネットやタンバリンなども混ぜて演奏を楽しんでいます。</p> <p>② 毎朝、朝の会の後、0歳児から体操をしています。みんなで一緒に体を動かすことで一体感が生まれ楽しんでいます。</p> <p>③ お店屋さんごっこや、コーナーを使ってままごとを楽しんでいます。それぞれが親になりきって、思いの台詞を考えています。</p>
<p>(7) 生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなと一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① おたのしみ会での劇や歌を通して、他児と一緒に物語を作っていく楽しみを味わう。</p> <p>② 運動会の遊戯では自分たちで動きを考え表現したり、異年齢で表現することを楽しんでいる。</p> <p>③ 作品展の共同制作など、協力して一つのものが出来上がる喜びを感じる。</p>	<p>① おたのしみ会では、日頃読んでもらっている絵本の中から子どもたちが選んだ内容の劇を、みんなで作り上げていきます。台詞や内容も、みんなの発想で途中で変わっていくのも楽しそうです。</p> <p>② 運動会ではクラス毎の発表と、縦割りのグループでの発表があり、年長児と年少児が混ざって遊戯をします。練習の時からだんだんに仲良くなり、楽しんでいます。</p> <p>③ 作品展では過去1年間で作った個人の作品を展示したり、クラスや縦割りのグループが合同で制作したものも展示します。作品が展示されると、その作品についてお友達や保護者に楽しそうに説明しています。</p>

## 大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>(8)</p> <p>生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① マット運動や平均台遊びを取り入れることで、バランス感覚を養いながら体を動かす楽しさを味わう。</p> <p>② 英語レッスンによって、日本語だけでなく英語のやり取りも楽しみ、外国への興味を持つ。</p> <p>③ 絵本の読み聞かせや個人絵本を自分で読むことで、想像力を育む。</p>	<p>① 天気の良い日は散歩に行ったり、公園で体を動かして遊びます。雨の日などは、バランス感覚が養えるマット運動や平均台などの遊びを、広い部屋で行います。</p> <p>② 英語のレッスンをゲームなど遊びながら行うことによって、外国への興味を持つようにしています。オリンピックの時には部屋の中にいろいろな国旗を貼って、外国への興味を持たせています。</p> <p>③ 絵本の読み聞かせを保育士が日常的に行い、行事の時などには保育士が一人では開けないほどの大きな絵本を子どもたちに見せて、読んで聞かせたりしています。</p>
<p>(9)</p> <p>生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① カブトムシを卵・幼虫・成虫と育て、その成長過程を観察している。</p> <p>② 公園などで採取してきた虫などを飼育し、その生態などを観察して興味を持つ。</p> <p>③ 稲・トマト・インゲンなど身近な食べ物の栽培を通して、食に対する興味を持つ。</p>	<p>① カブトムシを卵から成虫になるまで観察をしています。乳児はエサを上げたり、年長児はよく見て絵を描いたりして、その成長に興味を持たせています。</p> <p>② 散歩や公園に行ったときに見つけた虫などを採取して持って帰り、保育園でみんなで大切に育てています。</p> <p>③ 保育園でイネやトマト、いんげんを育て栽培しています。嫌いなものも少しでも食べられるようにと、収穫したものは給食の中に入れてもらったりしています。</p>

## 大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>(10)</p> <p>自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 栄養士による月1回の食育講座。</p> <p>② ジャンボ恵方巻きなどのクッキング。</p> <p>③ 0歳からオムツが濡れていないときはトイレに座る。</p>	<p>① 栄養士が子どもたちに、月に1回紙芝居や人形を使って栄養の大切さを話します。</p> <p>② 調理師の指導により、お節句の時に子どもたち全員で、7メートル位のジャンボ恵方巻を作って食べます。</p> <p>③ トイレでの排泄が楽しめるように、0歳児からトイレに座る習慣をつけています。うまくトイレで排泄ができた時は保育士がみんなでおほめます。</p>
<p>(11)</p> <p>身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 衣服の着脱・食事・排泄など生活に必要な活動を自分ですることで、喜びを感じ次のステップへ進んでいる。</p> <p>② 午睡時間をきちんと確保し、睡眠をとること、休息が大事であることを伝える。</p> <p>③ 朝夕の支度を保育者とともに自分ですることで、出来ることは自分でしようとする意欲を育む。</p>	<p>① 午睡の前後など、子どもたちは自ら着替えなどを行います。食事の時は、0歳児や1歳児も、できるだけ自分でスプーンなどを持って食べるようにします。多少こぼすことはあっても自分で食べることで自信につなげます。</p> <p>② たくさん体を動かした後は、しっかりと午睡を取るようにします。眠れない子は静かに横になっているか、寝ている子の邪魔をしないように、離れたところで静かに本などを読んで過ごします。</p> <p>③ タオル掛けや着替えなどの朝夕の支度は、0歳児も保育士が近くに持って行ってあげたりして、なるべく自分でできるように配慮します。</p>

### 大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>12-(1) 子どもの豊かな心と身体をはぐくむための特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① 裸足保育を取り入れることで、土踏まずの形成促進や、足の裏の刺激による体全体の成長を促している。</p> <p>② 園外散歩を通して、地域の人との交流や体力の向上に努めている。</p> <p>③ 個人絵本を購入していただき保育の中に取り入れることで、絵本に親しむこと・自分のものを大切にする気持ちを育てている。</p>	<p>① 健康増進のためはだし保育を取り入れています。園庭の芝生でも裸足で遊び、芝生の感触も肌で感じられるようにしています。</p> <p>② 園庭もありますが、戸外での活動を多く取り入れています。緑が多く四季を感じられます。園の近くに小学校もあり、散歩を通じて地域の方たちと挨拶を交わし、交流をしています。</p> <p>③ 絵本は子どもの発達と成長に合わせた絵本を園で読み聞かせ、家庭では親子の時間を大切にできるように配慮しています。</p>
<p>(2) 保育環境に特別な配慮を必要とする子ども（長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児）の保育に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① 加配児に対して職員を配置し、配慮している。</p> <p>② 長時間保育をする園児に対して、補食の提供（有料）をしている。</p> <p>③ 乳児保育を発達に応じたグループに分けて保育している。</p>	<p>① 職員を多く配置し、きめ細かな保育ができるように配慮しています。対象児には絵カードを利用して混乱なくわかりやすく伝えるようにしています。</p> <p>② 延長保育は、1階の部屋を使って活動しています。長時間利用する場合には、有料ですが、補食を提供しています。</p> <p>③ 乳児クラスは、グループ分けをすることによってきめ細かな保育をするようにしています。</p>

<p>(3) 健康管理に特別な配慮を必要とする子ども (アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など)の保育に関する特徴的な取り組み(アレルギー食対応、個別食、離乳食など)について説明してください</p>	<p>① アレルギー等の除去食の提供(誤食のないように除去食児に提供する食器を通常の食器と分けている)</p> <p>② 離乳食の個別対応(家庭主導で行い、食べた食材を随時聞き取り、その食材を提供している)</p> <p>③ アレルギー対応マニュアルに合わせ、個別指導表や診断表を作成している。</p>	<p>① アレルギーなどの除去食の提供は、他の子どもの食事と間違えないように食器(絵が描いてある)を変えたり、子どもの名前と食材を書いたプレートに蓋をつけています。</p> <p>② 離乳食は一人一人家庭で食べる事が出来た食材を聞いてから、給食に反映するようにして個別に対応しています。</p> <p>③ マニュアルに合わせて作成した個別指導票や診断表に基づいて、注意深く調理を行っています。 アレルギー食の対応については、保護者と園長と主任が面談をして細かな対応を決め、調理師に書面で連絡して、さらに調理室内に掲示をしています。</p>
<p>(4) 食に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① 栄養士による月1回の食育講座</p> <p>② ジャンボ恵方巻きなどのクッキング。</p> <p>③ 地域の子育て家庭を対象とした給食試食会(年1回)</p>	<p>① 栄養士による食育講座を実施し、食への関心が高まるようにしています。</p> <p>② ジャンボ恵方巻きなどのクッキングを通して、みんなで作ってみんなで楽しく食べることを通じて食べる意欲を高めるようにしています。</p> <p>③ 地域の子育て家庭を対象とした給食試食会を年1回開催しています。 地域の子育て家庭への食事への助言も含め、子育て家庭が相談しやすい場も同時に提供しています。</p>
<p>(5) 家庭とのコミュニケーションに関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① 0歳児は乳児用ノート、1～5歳児は卒園まで個別連絡ノートを活用することで、毎日の様子を保護者とやりとりし、家庭との連携をより密にしている。</p> <p>② 毎月の園便りを発行。年3回のクラス便りを発行。</p> <p>③ 年1回のクラス説明会を実施。</p>	<p>① 全クラスで連絡ノートを使用しています。連絡ノートに記載できないことは、登園時に園から声をかけるようにしています。</p> <p>② 毎月の園便りと年3回のクラス便りを配布して家庭とのコミュニケーションをとるようにしています。</p> <p>③ 年1回のクラス説明会を実施して園の情報提供に努めています。 合同行事の開催などは保護者に十分な説明をするように努めてください。</p>

<p>(6)</p> <p>地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① 親子陶芸・音楽会・ベビーサイン・給食試食会・ベビーヨガ・マタニティーヨガなどの実施。</p> <p>② 月2回の園庭開放を実施。</p> <p>③ 一時保育を平日受け入れている。</p>	<p>① 親子陶芸教室・音楽会・ベビーサイン・給食試食会・ベビーヨガ・マタニティーヨガなど数多くの地域の子育て支援に向け取り組んでいます。案内は、自治会の回覧板、園舎外の掲示版、近隣のスーパー、公民館等、多くの場所に張り出し呼びかけています。給食試食会には園を利用していない外部の方が大勢集まっています。</p> <p>② 月2回の園庭開放では、枯葉に絵具を塗ってハリネズミを作るなど像芸活動を継続的に実施しています。園庭開放から一時利用の登録に繋がっています。</p> <p>③ 一時利用の人数が多く、地域の子育て家庭のニーズは高まっています。一時利用は職員を2名配置しています。1歳児の一時利用が最も多く、安心して預けられるように努めています。継続的な一時利用から園を選んでくれる保護者の方も多くいます。</p>
--	--	--